

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○ 落ち着いて安心安全に学べみんなといることが楽しく子どもが喜んで登校する学校 ○ 規範意識をもち、望ましい人間関係をつくる子どもの育成 ○ 一人ひとりの子どもを大切に、子ども、保護者、地域の人に信頼され、弥永西の地を誇りに思える教師		学力の定着	低・中学年までに徹底して基礎基本を繰り返し行い、学習内容の定着を図る。個別の児童の実態を把握し、保護者と連携をとり、家庭学習の定着も図っていく。また、全国学力テストや学習定着度調査に向けても補充発展の時間を有効活用し、積極的に取り組んでいく。
		基本的生活習慣のさらなる定着	挨拶の定着を図るために、あいさつキャンペーンを継続し、挨拶への意識をさらに高めていく。また、3学期に取り組んだ清掃においての全校一斉深呼吸ともくもく掃除の取り組みを継続して行う。
		自尊感情	自尊感情を高めるために、帰りの会で「きりりコーナー」などのよさみつけを取り入れ、いいところを伝え合う。また、学期末の「自分への賞状」作成し、自分の頑張りを見つめ、あゆみに入れて保護者へも伝える。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力を育成する	毎時間めあてとまとめを明確にするとともに、ふり取りを取り入れた授業を行う。学期末の教師の自己評価80ポイント以上	○めあてとまとめを毎時間明確にした。算数の学習では教師の評価は100%。	
	木曜日の弥西タイムを「計算アレンタイム」、月曜日と並曜日の弥西タイムを補充学習と位置づけ、全校一斉に取り組む。算数強化週間を設ける 読書カードを活用し、読書への意欲づけをする。読書量目標100冊(低)、80冊(中)、50冊(高) ドリルノートを全学年活用し90%の児童がドリルをやり遂げることができる。	○弥西タイムに習熟を図り、算数強化週間においても各学年児童の苦手なところを中心にプリントを作成し実施した。福岡市学習定着度調査では市平均と同等。 ○読書の働きかけについて2学期末に全職員で振り返り、共通理解のもと意識して取り組んでいる。読書の記録や読書目標は効果的で少しの時間でも読書をする意識が高まっている。1月末目標25881冊の目標に対し、28470冊達成。 ○教科学習が苦手な児童でも無理なく書き込むことができた。ドリルノートは全学年における達成率97%。	
規範意識の向上に取り組む	全校朝会を月1回実施し相手を意識した話の聞き方態度を身につけさせる	○全校朝会では「8つの無言の場」をキーワードに静かに入場し静かに話を聞くことができている。教師の自己評価は100%。	
	4S挨拶時間を守るの児童の意識調査(7月と12月3月に実施)を行い定着率80%(全学年)以上の状況を把握する。 地域と連携したGTの活用全学年1回以上 生徒指導の各月のめあての80%達成する。	○4S挨拶の振り返りでは80%達成したが、学級によってばらつきがある。代表委員会による話し合いで「あいさつキャンペーン」の取り組みも始まり、挨拶への意識が高まっている。 ○地域GTの活用は、生活科・総合的な学習・道徳・学級活動で全学年1回以上達成。 ○月のめあては学年によって差があり、クラスのめあての設定の内容によって達成率が変わる。今後、学校でめあてを統一した取り組みが必要。	
自尊感情の向上を図る。	異学年交流を年間3回実施する。	○1-6年、2-5年、3-4年のペア学年を中心に異学年交流ができていた。遠足や学習成果の発表、あいさつキャンペーンなど学年をこえた取り組みを実施することができた。	
	各学期アンケートを取りストップ言葉相手が喜ぶ言葉遣いが75%できる状況を把握する 学校行事、集会のめあての振り返りを全校で行い、感想などをまとめ、掲示した全校放送をする。 ノートや作品等には教師のコメントを入れる。学期末の教師の自己評価80ポイント以上	○言葉遣いに関して「～さんづけ」「キラキラの星空」「ストップ言葉掲示板」の取り組みの結果、児童の振り返りにおいて達成率89%。 ○行事、集会のめあてを毎回振り返り、全校放送・掲示をすることができた。児童も関心をもって他学年のコメントに目を向けていた。 ○ノートや作品にはコメントを入れ、掲示することができた。教師の自己評価は87%達成。	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			